

『高等学校・芸術科・音楽1』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年10月6日 第3校時(50分)

(2) 場 所 音楽室

(3) 学年・学級 第1学年1組(15名)

使用教科書: 高校生の音楽1(教育芸術社 P122、123)

(4) 題 材 名 《きらきら星》の旋律で音楽をつくろう

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

これまでに歌唱や鑑賞の活動を通して、音楽を形づくっている要素の働きと関わらせた学習を重ねている。創作分野については、この題材が始めてだが、中学校でのICTを活用した創作については全員が経験している。

【題材のねらい】

- ・音楽を形づくっている諸要素の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解することができる。
- ・「きらきら星」の旋律をもとに、表したいイメージをもって諸要素の働きを変化させながら、ICTを活用して創作アプリを用いた変奏曲をつくることができる。

【生徒の状況】

- ・意欲的で、積極的に取り組める生徒が多い。音楽系部活動に所属している生徒は3割程度で、授業でのリーダーシップも発揮している。記譜と読譜については、苦手な生徒が多い。
- ・一人一台端末で、操作性に優れている。高等学校での創作は初めてだが、中学校での音楽アプリを使用した創作には取り組んでいる。ただし、使用した音楽アプリについては共通ではない。

(6) 指導計画(全 5 時間)

次(時 数)	学習内容	活動・指導形 態	評価計画
第1時 本時 P122、 123	・本題材の学習内容を理解する。 ・音楽の諸要素を変化させると楽曲の表情や雰囲気が変わることについて理解する。 ・「きらきら星」の変奏をイメージをもって個人で創作する。	一斉 個人	知識
第2時	・前回の学習を振り返る。 ・表したいイメージから、それにふさわしい音楽表現を各自で考える。 ・ペアで演奏を聴き合い、工夫点や改善点を見つけあう。 ・グループ内で変奏を持ち寄り、それらをつなげて変奏曲をつくる。	一斉 個人 ペア・グルー プ	思考・判断・ 表現①
第3時	・前回の学習を振り返る。 ・グループで変奏曲について工夫点や改善点を見つけ合う。 ・話し合ったことをもとにさらに試行錯誤する。	グループ 個人	
第4時	・前回の学習を振り返る。 ・全員で中間発表をして、意見を交換し合い、作品の手直しをする。	一斉 グループ	思考・判断・ 表現②
第5時	・全員で完成した作品を発表する。 ・作品に対して意見や感想を交換する。 ・学習の振り返りを記述する。	一斉 個人	技能 主体的に学習に 取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。